

事業報告概要

学校法人専修大学の「令和5年度事業報告書」をまとめたのでここに報告(概要)します。本報告書は、2023年度の大学の取り組みと成果を振り返り、今後の発展に向けた展望を示すものです。

23年度は、新型コロナウイルスの影響からの回復を目指しつつ、教育・研究をはじめとする大学の諸活動の質を更に向上させるためにさまざまな取り組みを行いました。

専修大学は、学士課程教育の質向上に向けて、アセスメントプランに基づく学士課程教育全体の点検・評価を推進し、また「データサイエンス教育プログラム」の充実・強化を図りました。

大学院においては、文学研究科修士課程

ジャーナリズム専攻の設置準備を進めました。法科大学院においても、司法試験合格者数及び合格率の向上を目指した教育改革に取り組み、本法学部「法曹コース」の設置準備を進めました。

研究活動においては、社会知性開発研究センターの各研究プロジェクトが、コロナ禍以来となる国外での活動を再開しました。

学生の活躍では、難関国家試験である国家公務員採用総合職試験、公認会計士試験、司法試験などに多数の合格者を輩出しました。とりわけ国税専門官採用数では、全国トップレベルになっています。スポーツでは、野球部の経済学部4年次の西脇昂汰さんがプロ野球ドラフト会議で1位指名を受け、ボクシング部の法学部4年次の原

石巻専修大学は、「第1次中期ビジョン」に基づき大学改革を着実に推進し、外部評価委員会の意見を取り入れながらその成果を可視化に取り組みました。更に、第2次中期ビジョン策定に向けた準備も進めており、大学の発展に向けた新たな目標の設定に努めています。

地域連携の分野では、建学の精神を具現化するために多くの地域貢献活動を実施しました。「みやぎ県民大学 石巻専修大学開設講座」やソフトバンク株式会との「SDGs デジタル社会推進機構」への参加など、地域と根ざして世界に矢がった大学の実現を目指した活動を展開しました。

教育の面では「数理・データサイエンス・AI教育プログラム」の導入に向けた

準備や新たなカリキュラムの策定に向けた検討を進めました。また、高大接続の観点から志願者の能力・意識・適性等を多面的・総合的に評価する新たな入学選抜制度の導入を決定しました。

「令和5年度事業報告書」の詳細は公式WEBページをご覧ください。



【事業報告書】

令和5年度決算概要

学校法人専修大学の令和5年度事業報告・決算は、5月29日開催の理事会・評議員会で承認され、確定した。

事業活動収支計算書

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで (単位:円)

科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金収入	20,689,819,000	20,686,592,290	3,226,710
手数料収入	1,173,690,000	1,106,970,415	66,719,585
寄付金収入	180,000,000	232,081,554	△ 52,081,554
経常費等補助金収入	2,278,875,000	2,246,645,273	32,229,727
付随事業収入	657,186,000	622,273,072	34,912,928
雑収入	730,582,000	815,767,973	△ 85,185,973
教育活動資金収入計	25,710,152,000	25,710,330,577	△ 178,577
人件費支出	14,378,682,000	14,430,061,219	△ 51,399,219
教育研究経費支出	8,679,525,000	8,677,787,480	1,737,520
管理経費支出	1,567,262,000	1,531,988,732	35,273,268
施設整備等活動資金収入計	24,625,449,000	24,639,837,431	△ 14,388,431
教育活動資金支出計	1,084,703,000	1,070,493,146	14,209,854
受取利息・配当金	107,097,000	112,605,021	△ 5,508,021
雑収入	0	0	0
教育活動外収入計	107,097,000	112,605,021	△ 5,508,021
教育活動外支出計	14,285,000	14,284,964	36
その他の教育活動外支出	0	0	0
教育活動外収支差額	92,812,000	98,320,057	△ 5,508,057
経常収支差額	1,177,515,000	1,168,813,203	8,701,797
資産売却差額	0	0	0
その他の特別収入	32,100,000	26,337,211	5,762,789
その他の特別支出	32,100,000	26,337,211	5,762,789
資産処分差額	39,545,000	28,355,989	11,189,011
特別収支差額	7,445,000	2,018,778	5,426,222
〔予備費〕	(0)	150,000,000	150,000,000
基本金組入前当年度収支差額	1,020,070,000	1,166,794,425	△ 146,724,425
基本金組入額合計	△ 1,249,747,000	△ 1,092,191,600	△ 157,555,400
当年度収支差額	△ 229,677,000	74,602,825	△ 304,279,825
前年度繰越収支差額	△ 45,054,424	△ 45,054,423	1
本年度繰越収支差額	35,994,000	35,995,421	△ 1,426
事業活動収入計	25,849,349,000	25,849,272,809	76,191
事業活動支出計	24,829,279,000	24,682,478,384	146,800,616

備考：1. 教育活動収支の事業活動収入の部「寄付金」は施設設備寄付金を除く。
2. 教育活動収支の事業活動支出の部「人件費」には退職給付引当金繰入額を含み、「教育研究経費」には「管理経費」には、それぞれ減価償却額を含む。

活動区分資金収支計算書

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで (単位:円)

科目	金額
学生生徒等納付金収入	20,686,592,290
手数料収入	1,106,970,415
特別寄付金収入	232,081,554
経常費等補助金収入	2,246,645,273
付随事業収入	622,273,072
雑収入	815,767,973
教育活動資金収入計	25,710,330,577
人件費支出	14,376,681,051
教育研究経費支出	8,684,207,480
管理経費支出	1,329,806,185
教育活動資金支出計	22,390,694,716
差異	3,319,635,861
調整勘定等	△ 185,791,362
教育活動資金収支差額	3,133,844,499

科目	金額
施設設備寄付金収入	335,000
施設設備売却収入	114,480
施設整備等活動資金収入計	449,480
施設関係支出	303,585,964
施設関係貸出	136,176,248
第2号基本金引当特定資産繰入支出	600,000,000
施設設備準備資産繰入支出	1,000,000,000
施設整備等活動資金支出計	2,039,762,212
差異	△ 2,039,312,732
調整勘定等	△ 169,590,082
施設整備等活動資金収支差額	△ 2,208,902,814
小計(教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額)	924,941,685

科目	金額
第3号基本金引当特定資産取崩収入	57,000,000
貸付金回収収入	1,479,277
敷金・保証金回収収入	40,000
小計	58,519,277
受取利息・配当金収入	112,605,021
施設設備売却収入	171,124,288
借入金等返済支出	407,770,000
有価証券購入支出	200,000,000
教育資金引当特定資産繰入支出	21,004,579
退職給付引当資産繰入支出	50,000,000
法人基金準備資産繰入支出	158,000,000
貸付金支払支出	1,000,000
預り金支払支出	51,343,363
仮払金支払支出	20,123,334
小計	909,241,276
借入金等利息支出	14,284,964
その他の活動資金支出計	923,526,240
差異	△ 752,041,942
調整勘定等	△ 752,041,942
その他の活動資金収支差額	△ 752,041,942
支払資金の増減額(小計+その他の活動資金収支差額)	172,539,743
前年度繰越支払資金	7,103,200,305
翌年度繰越支払資金	7,275,740,048

〔収入の部〕
①収入の部
①学生生徒等納付金収入は、予算比0・02%減の206億8659万9千円(前年度比では2・39%)の増。このうち、収入の部では、当年度収入計が予算比0・25%減257億744万3千9百円(前年度比では0・15%の増)で、翌年度繰越収支差額を加えた収入となる前受金収入を含め、7574万4千円となっている(前年度比では2・43%の増)。

〔支出の部〕
①支出の部では、当年度支出計が予算比0・62%減255億739万9千5百円(前年度比では0・15%の増)で、翌年度繰越収支差額を加えた収入となる前受金収入を含め、7574万4千円となっている(前年度比では2・43%の増)。

②収入の部
②収入の部では、予算比1・39%減の2億2306万7千円(前年度比では12・68%の増)で、このうち、収入の部では、当年度収入計が予算比1・15%増の1億255万5千円(前年度比では95・19%の増)で、翌年度繰越収支差額を加えた収入となる前受金収入を含め、7574万4千円(前年度比では0・15%の増)となっている(前年度比では2・43%の増)。

③収入の部
③収入の部では、予算比1・39%減の2億2306万7千円(前年度比では12・68%の増)で、このうち、収入の部では、当年度収入計が予算比1・15%増の1億255万5千円(前年度比では95・19%の増)で、翌年度繰越収支差額を加えた収入となる前受金収入を含め、7574万4千円(前年度比では0・15%の増)となっている(前年度比では2・43%の増)。

④収入の部
④収入の部では、予算比1・39%減の2億2306万7千円(前年度比では12・68%の増)で、このうち、収入の部では、当年度収入計が予算比1・15%増の1億255万5千円(前年度比では95・19%の増)で、翌年度繰越収支差額を加えた収入となる前受金収入を含め、7574万4千円(前年度比では0・15%の増)となっている(前年度比では2・43%の増)。

⑤収入の部
⑤収入の部では、予算比1・39%減の2億2306万7千円(前年度比では12・68%の増)で、このうち、収入の部では、当年度収入計が予算比1・15%増の1億255万5千円(前年度比では95・19%の増)で、翌年度繰越収支差額を加えた収入となる前受金収入を含め、7574万4千円(前年度比では0・15%の増)となっている(前年度比では2・43%の増)。

⑥収入の部
⑥収入の部では、予算比1・39%減の2億2306万7千円(前年度比では12・68%の増)で、このうち、収入の部では、当年度収入計が予算比1・15%増の1億255万5千円(前年度比では95・19%の増)で、翌年度繰越収支差額を加えた収入となる前受金収入を含め、7574万4千円(前年度比では0・15%の増)となっている(前年度比では2・43%の増)。

⑦収入の部
⑦収入の部では、予算比1・39%減の2億2306万7千円(前年度比では12・68%の増)で、このうち、収入の部では、当年度収入計が予算比1・15%増の1億255万5千円(前年度比では95・19%の増)で、翌年度繰越収支差額を加えた収入となる前受金収入を含め、7574万4千円(前年度比では0・15%の増)となっている(前年度比では2・43%の増)。

⑧収入の部
⑧収入の部では、予算比1・39%減の2億2306万7千円(前年度比では12・68%の増)で、このうち、収入の部では、当年度収入計が予算比1・15%増の1億255万5千円(前年度比では95・19%の増)で、翌年度繰越収支差額を加えた収入となる前受金収入を含め、7574万4千円(前年度比では0・15%の増)となっている(前年度比では2・43%の増)。

⑨収入の部
⑨収入の部では、予算比1・39%減の2億2306万7千円(前年度比では12・68%の増)で、このうち、収入の部では、当年度収入計が予算比1・15%増の1億255万5千円(前年度比では95・19%の増)で、翌年度繰越収支差額を加えた収入となる前受金収入を含め、7574万4千円(前年度比では0・15%の増)となっている(前年度比では2・43%の増)。

⑩収入の部
⑩収入の部では、予算比1・39%減の2億2306万7千円(前年度比では12・68%の増)で、このうち、収入の部では、当年度収入計が予算比1・15%増の1億255万5千円(前年度比では95・19%の増)で、翌年度繰越収支差額を加えた収入となる前受金収入を含め、7574万4千円(前年度比では0・15%の増)となっている(前年度比では2・43%の増)。

⑪収入の部
⑪収入の部では、予算比1・39%減の2億2306万7千円(前年度比では12・68%の増)で、このうち、収入の部では、当年度収入計が予算比1・15%増の1億255万5千円(前年度比では95・19%の増)で、翌年度繰越収支差額を加えた収入となる前受金収入を含め、7574万4千円(前年度比では0・15%の増)となっている(前年度比では2・43%の増)。

⑫収入の部
⑫収入の部では、予算比1・39%減の2億2306万7千円(前年度比では12・68%の増)で、このうち、収入の部では、当年度収入計が予算比1・15%増の1億255万5千円(前年度比では95・19%の増)で、翌年度繰越収支差額を加えた収入となる前受金収入を含め、7574万4千円(前年度比では0・15%の増)となっている(前年度比では2・43%の増)。

⑬収入の部
⑬収入の部では、予算比1・39%減の2億2306万7千円(前年度比では12・68%の増)で、このうち、収入の部では、当年度収入計が予算比1・15%増の1億255万5千円(前年度比では95・19%の増)で、翌年度繰越収支差額を加えた収入となる前受金収入を含め、7574万4千円(前年度比では0・15%の増)となっている(前年度比では2・43%の増)。

⑭収入の部
⑭収入の部では、予算比1・39%減の2億2306万7千円(前年度比では12・68%の増)で、このうち、収入の部では、当年度収入計が予算比1・15%増の1億255万5千円(前年度比では95・19%の増)で、翌年度繰越収支差額を加えた収入となる前受金収入を含め、7574万4千円(前年度比では0・15%の増)となっている(前年度比では2・43%の増)。

⑮収入の部
⑮収入の部では、予算比1・39%減の2億2306万7千円(前年度比では12・68%の増)で、このうち、収入の部では、当年度収入計が予算比1・15%増の1億255万5千円(前年度比では95・19%の増)で、翌年度繰越収支差額を加えた収入となる前受金収入を含め、7574万4千円(前年度比では0・15%の増)となっている(前年度比では2・43%の増)。

⑯収入の部
⑯収入の部では、予算比1・39%減の2億2306万7千円(前年度比では12・68%の増)で、このうち、収入の部では、当年度収入計が予算比1・15%増の1億255万5千円(前年度比では95・19%の増)で、翌年度繰越収支差額を加えた収入となる前受金収入を含め、7574万4千円(前年度比では0・15%の増)となっている(前年度比では2・43%の増)。

⑰収入の部
⑰収入の部では、予算比1・39%減の2億2306万7千円(前年度比では12・68%の増)で、このうち、収入の部では、当年度収入計が予算比1・15%増の1億255万5千円(前年度比では95・19%の増)で、翌年度繰越収支差額を加えた収入となる前受金収入を含め、7574万4千円(前年度比では0・15%の増)となっている(前年度比では2・43%の増)。

⑱収入の部
⑱収入の部では、予算比1・39%減の2億2306万7千円(前年度比では12・68%の増)で、このうち、収入の部では、当年度収入計が予算比1・15%増の1億255万5千円(前年度比では95・19%の増)で、翌年度繰越収支差額を加えた収入となる前受金収入を含め、7574万4千円(前年度比では0・15%の増)となっている(前年度比では2・43%の増)。

⑲収入の部
⑲収入の部では、予算比1・39%減の2億2306万7千円(前年度比では12・68%の増)で、このうち、収入の部では、当年度収入計が予算比1・15%増の1億255万5千円(前年度比では95・19%の増)で、翌年度繰越収支差額を加えた収入となる前受金収入を含め、7574万4千円(前年度比では0・15%の増)となっている(前年度比では2・43%の増)。

⑳収入の部
⑳収入の部では、予算比1・39%減の2億2306万7千円(前年度比では12・68%の増)で、このうち、収入の部では、当年度収入計が予算比1・15%増の1億255万5千円(前年度比では95・19%の増)で、翌年度繰越収支差額を加えた収入となる前受金収入を含め、7574万4千円(前年度比では0・15%の増)となっている(前年度比では2・43%の増)。

㉑収入の部
㉑収入の部では、予算比1・39%減の2億2306万7千円(前年度比では12・68%の増)で、このうち、収入の部では、当年度収入計が予算比1・15%増の1億255万5千円(前年度比では95・19%の増)で、翌年度繰越収支差額を加えた収入となる前受金収入を含め、7574万4千円(前年度比では0・15%の増)となっている(前年度比では2・43%の増)。

㉒収入の部
㉒収入の部では、予算比1・39%減の2億2306万7千円(前年度比では12・68%の増)で、このうち、収入の部では、当年度収入計が予算比1・15%増の1億255万5千円(前年度比では95・19%の増)で、翌年度繰越収支差額を加えた収入となる前受金収入を含め、7574万4千円(前年度比では0・15%の増)となっている(前年度比では2・43%の増)。

㉓収入の部
㉓収入の部では、予算比1・39%減の2億2306万7千円(前年度比では12・68%の増)で、このうち、収入の部では、当年度収入計が予算比1・15%増の1億255万5千円(前年度比では95・19%の増)で、翌年度繰越収支差額を加えた収入となる前受金収入を含め、7574万4千円(前年度比では0・15%の増)となっている(前年度比では2・43%の増)。

㉔収入の部
㉔収入の部では、予算比1・39%減の2億2306万7千円(前年度比では12・68%の増)で、このうち、収入の部では、当年度収入計が予算比1・15%増の1億255万5千円(前年度比では95・19%の増)で、翌年度繰越収支差額を加えた収入となる前受金収入を含め、7574万4千円(前年度比では0・15%の増)となっている(前年度比では2・43%の増)。

㉕収入の部
㉕収入の部では、予算比1・39%減の2億2306万7千円(前年度比では12・68%の増)で、このうち、収入の部では、当年度収入計が予算比1・15%増の1億255万5千円(前年度比では95・19%の増)で、翌年度繰越収支差額を加えた収入となる前受金収入を含め、7574万4千円(前年度比では0・15%の増)となっている(前年度比では2・43%の増)。

㉖収入の部
㉖収入の部では、予算比1・39%減の2億2306万7千円(前年度比では12・68%の増)で、このうち、収入の部では、当年度収入計が予算比1・15%増の1億255万5千円(前年度比では95・19%の増)で、翌年度繰越収支差額を加えた収入となる前受金収入を含め、7574万4千円(前年度比では0・15%の増)となっている(前年度比では2・43%の増)。

㉗収入の部
㉗収入の部では、予算比1・39%減の2億2306万7千円(前年度比では12・68%の増)で、このうち、収入の部では、当年度収入計が予算比1・15%増の1億255万5千円(前年度比では95・19%の増)で、翌年度繰越収支差額を加えた収入となる前受金収入を含め、7574万4千円(前年度比では0・15%の増)となっている(前年度比では2・43%の増)。

㉘収入の部
㉘収入の部では、予算比1・39%減の2億2306万7千円(前年度比では12・68%の増)で、このうち、収入の部では、当年度収入計が予算比1・15%増の1億255万5千円(前年度比では95・19%の増)で、翌年度繰越収支差額を加えた収入となる前受金収入を含め、7574万4千円(前年度比では0・15%の増)となっている(前年度比では2・43%の増)。

㉙収入の部
㉙収入の部では、予算比1・39%減の2億2306万7千円(前年度比では12・68%の増)で、このうち、収入の部では、当年度収入計が予算比1・15%増の1億255万5千円(前年度比では95・19%の増)で、翌年度繰越収支差額を加えた収入となる前受金収入を含め、7574万4千円(前年度比では0・15%の増)となっている(前年度比では2・43%の増)。

㉚収入の部
㉚収入の部では、予算比1・39%減の2億2306万7千円(前年度比では12・68%の増)で、このうち、収入の部では、当年度収入計が予算比1・15%増の1億255万5千円(前年度比では95・19%の増)で、翌年度繰越収支差額を加えた収入となる前受金収入を含め、7574万4千円(前年度比では0・15%の増)となっている(前年度比では2・43%の増)。

㉛収入の部
㉛収入の部では、予算比1・39%減の2億2306万7千円(前年度比では12・68%の増)で、このうち、収入の部では、当年度収入計が予算比1・15%増の1億255万5千円(前年度比では95・19%の増)で、翌年度繰越収支差額を加えた収入となる前受金収入を含め、7574万4千円(前年度比では0・15%の増)となっている(前年度比では2・43%の増)。

㉜収入の部
㉜収入の部では、予算比1・39%減の2億2306万7千円(前年度比では12・68%の増)で、このうち、収入の部では、当年度収入計が予算比1・15%増の1億255万5千円(前年度比では95・19%の増)で、翌年度繰越収支差額を加えた収入となる前受金収入を含め、7574万4千円(前年度比では0・15%の増)となっている(前年度比では2・43%の増)。

㉝収入の部
㉝収入の部では、予算比1・39%減の2億2306万7千円(前年度比では12・68%の増)で、このうち、収入の部では、当年度収入計が予算比1・15%増の1億255万5千円(前年度比では95・19%の増)で、翌年度繰越収支差額を加えた収入となる前受金収入を含め、7574万4千円(前年度比では0・15%の増)となっている(前年度比では2・43%の増)。

㉞収入の部
㉞収入の部では、予算比1・39%減の2億2306万7千円(前年度比では12・68%の増)で、このうち、収入の部では、当年度収入計が予算比1・15%増の1億255万5千円(前年度比では95・19%の増)で、翌年度繰越収支差額を加えた収入となる前受金収入を含め、7574万4千円(前年度比では0・15%の増)となっている(前年度比では2・43%の増)。

㉟収入の部
㉟収入の部では、予算比1・39%減の2億2306万7千円(前年度比では12・68%の増)で、このうち、収入の部では、当年度収入計が予算比1・15%増の1億255万5千円(前年度比では95・19%の増)で、翌年度繰越収支差額を加えた収入となる前受金収入を含め、7574万4千円(前年度比では0・15%の増)となっている(前年度比では2・43%の増)。

㊱収入の部
㊱収入の部では、予算比1・39%減の2億2306万7千円(前年度比では12・68%の増)で、このうち、収入の部では、当年度収入計が予算比1・15%増の1億255万5千円(前年度比では95・19%の増)で、翌年度繰越収支差額を加えた収入となる前受金収入を含め、7574万4千円(前年度比では0・15%の増)となっている(前年度比では2・43%の増)。

㊲収入の部
㊲収入の部では、予算比1・39%減の2億2306万7千円(前年度比では12・68%の増)で、このうち、収入の部では、当年度収入計が予算比1・15%増の1億255万5千円(前年度比では95・19%の増)で、翌年度繰越収支差額を加えた収入となる前受金収入を含め、7574万4千円(前年度比では0・15%の増)となっている(前年度比では2・43%の増)。

㊳収入の部
㊳収入の部では、予算比1・39%減の2億2306万7千円(前年度比では12・68%の増)で、このうち、収入の部では、当年度収入計が予算比1・15%増の1億255万5千円(前年度比では95・19%の増)で、翌年度繰越収支差額を加えた収入となる前受金収入を含め、7574万4千円(前年度比では0・15%の増)となっている(前年度比では2・43%の増)。

㊴収入の部
㊴収入の部では、予算比1・39%減の2億2306万7千円(前年度比では12・68%の増)で、このうち、収入の部では、当年度収入計が予算比1・15%増の1億255万5千円(前年度比では95・19%の増)で、翌年度繰越収支差額を加えた収入となる前受金収入を含め、7574万4千円(前年度比では0・15%の増)となっている(前年度比では2・43%の増)。

㊵収入の部
㊵収入の部では、予算比1・39%減の2億2306万7千円(前年度比では12・68%の増)で、このうち、収入の部では、当年度収入計が予算比1・15%増の1億255万5千円(前年度比では95・19%の増)で、翌年度繰越収支差額を加えた収入となる前受金収入を含め、7574万4千円(前年度比では0・15%の増)となっている(前年度比では2・43%の増)。

㊶収入の部
㊶収入の部では、予算比1・39%減の2億2306万7千円(前年度比では12・68%の増)で、このうち、収入の部では、当年度収入計が予算比1・15%増の1億255万5千円(前年度比では95・19%の増)で、翌年度繰越収支差額を加えた収入となる前受金収入を含め、7574万4千円(前年度比では0・15%の増)となっている(前年度比では2・43%の増)。

㊷収入の部
㊷収入の部では、予算比1・39%減の2億2306万7千円(前年度比では12・68%の増)で、このうち、収入の部では、当年度収入計が予算比1・15%増の1億255万5千円(前年度比では95・19%の増)で、翌年度繰越収支差額を加えた収入となる前受金収入を含め、7574万4千円(前年度比では0・15%の増)となっている(前年度比では2・43%の増)。

㊸収入の部
㊸収入の部では、予算比1・39%減の2億2306万7千円(前年度比では12・68%の増)で、このうち、収入の部では、当年度収入計が予算比1・15%増の1億255万5千円(前年度比では95・19%の増)で、翌年度繰越収支差額を加えた収入となる前受金収入を含め、7574万4千円(前年度比では0・15%の増)となっている(前年度比では2・43%の増)。

㊹収入の部
㊹収入の部では、予算比1・39%減の2億2306万7千円(前年度比では12・68%の増)で、このうち、収入の部では、当年度収入計が予算比1・15%増の1億255万5千円(前年度比では95・19%の増)で、翌年度繰越収支差額を加えた収入となる前受金収入を含め、7574万4千円(前年度比では0・15%の増)となっている(前年度比では2・43%の増)。

㊺収入の部
㊺収入の部では、予算比1・39%減の2億2306万7千円(前年度比では12・68%の増)で、このうち、収入の部では、当年度収入計が予算比1・15%増の1億255万5千円(前年度比では95・19%の増)で、翌年度繰越収支差額を加えた収入となる前受金収入を含め、7574万4千円(前年度比では0・15%の増)となっている(前年度比では2・43%の増)。

㊻収入の部
㊻収入の部では、予算比1・39%減の2億2306万7千円(前年度比では12・68%の増)で、このうち、収入の部では、当年度収入計が予算比1・15%増の1億255万5千円(前年度比では95・19%の増)で、翌年度繰越収支差額を加えた収入となる前受金収入を含め、7574万4千円(前年度比では0・15%の増)となっている(前年度比では2・4